次世代の語り部が戦争の悲惨さを伝えます

次世代の語り部
定期講話会のご案内

講話の様子

実施日時

●5月12日（日）　13:00～14:00

会場

●しょうけい館　シアター
（東京都千代田区九段北1-11-5グリーンオーク九段2階） 地下鉄九段下駅7番出口徒歩3分
※詳しくは裏面をご参照ください。

講話内容

講話1：「ひめゆりの悲劇」

ひめゆり学徒隊として医療活動に従事し、
敵からの攻撃により左足を受傷。戦後は傷の痛みを
抱えながら教師として働いた方のお話しをします。

講話2：「捕虜と隔離が打ち砕いた人生」

戦地で捕虜となり、収容所でハンセン病が発覚。
戦後も隔離生活を余儀なくされた方のお話しをします。

●講話に合わせて関連する映像を上映します。
沖縄戦とハンセン病について、
講話内容をより深く理解いただける内容となっています。

「次世代の語り部」のご紹介

次世代の語り部事業について

●戦後75年以上が経過し、戦争体験者の高齢化が進み、体験を語ることができる人がますます少なくなっています。そのため、戦中・戦後の体験や過酷な生活状況を後世に語り継いでいく必要があります。
●当館では、2019年度から戦後世代を対象に、これら戦中・戦後の労苦を次世代に語り伝えてゆく「戦中・戦後の労苦を伝える次世代の語り部事業」を実施しています。

定期講話会について

●毎月1回、第2日曜日13:00～14:00に来館者に向けて定期講話会を実施しています。予約不要、入退室自由です。お気軽にご参加ください。

語り部について

●語り部は、当館で3年間の研修を修了された20代～70代の方々です。
この方々ご自身は戦争や戦傷病者としての体験はありません。

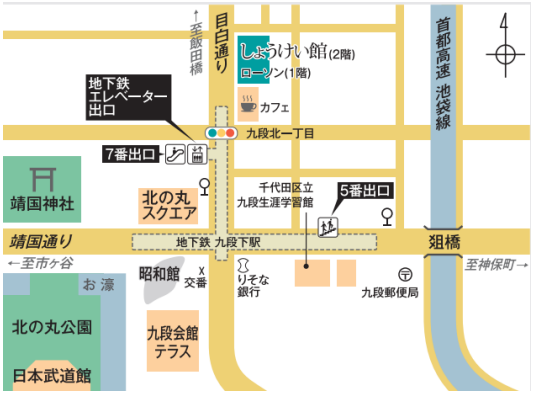
講 話 内 容

●講話内容は、「戦傷病者とその家族が体験した戦中・戦後の労苦」についてです。
●しょうけい館では、約200人の方々の証言を映像に収録してきました。
この証言者の体験を中心に当時の社会状況などを織りまぜながら、
写真やパネルを使って講話をおこないます。

ア ク セ ス

●地下鉄をご利用の場合
- 東京メトロ「九段下駅（東西線・半蔵門線）」
  7番出口より徒歩3分、5番出口より徒歩5分
- 都営地下鉄「九段下駅（新宿線）」
  7番出口より徒歩3分 、5番出口より徒歩5分

●バスをご利用の場合
- 都営バス「九段下（飯64系統）」より徒歩4分
- 千代田区コミュニティバス「千代田保健所（九段下駅）」より徒歩5分



お問い合わせ先

SHOKEI-KAN しょうけい館 戦傷病者史料館 Historical Materials Hall for the Wounded and Sick Retired Soldiers,etc.

しょうけい館（戦傷病者史料館）
〒102-0073　東京都千代田区九段北1-11-5グリーンオーク九段2階
TEL：03-3234-7821　FAX：03-3234-7826
Email：yoyaku@shokeikan.go.jp